

『レインボー都市うらそえ宣言』 応援メッセージ

矢野 恵美 (琉球大学法科大学院教授)



どのような性自認をもつか、誰を愛し、愛さないか等を含む性の多様性の問題は、重要な人権問題です。浦添市が性の多様性を尊重する宣言を出すことは、本当に素晴らしいことです。誰もが「てだこ」のように輝ける日が、1 日でも早く来ることを願っています。

澤岬 良心 (勇気づけの LGBT 講演家、(株)レインボーイノベーション代表)



「知らない」ということは不安を生み、差別や偏見に繋がりますが、性の多様性を知り認め合うことは、自分らしく幸福に生きられる社会に繋がります。

一人ひとり違いがあるからこそ、誰もがティータのように輝けるようレインボー都市うらそえを応援しています！

砂川 雅 ((一社) gid.jp 性同一性障害と共に生きる人々の会・沖縄支部役員)



この度は、「レインボー都市うらそえ宣言」、誠におめでとうございます。宣言を行うことにより、市民が性の多様性を認め合い、誰もが生きやすい社会に繋がると思います。性同一性障害を有する当事者の 1 人として、この場をかりて、お礼申し上げます。

砂川 秀樹 (文化人類学者・レインボーアライアンス沖縄共同代表)



自分が思春期の頃にこの言葉に出会っていたらどうだったかと思像しました。そして、ゲイであるがゆえに感じていた不安がきっと和らいだに違いないと。“レインボー都市うらそえ宣言” おめでとうございます。そして、素敵な宣言をありがとうございます。

比嘉 淑貴 ((一社) gid.jp 性同一性障害と共に生きる人々の会・沖縄支部長)

性自認や性指向に悩む人々に対し、個人の問題としてではなく、社会全体で認め尊重して行こうと示せたことは、とても大きな一歩だと思います。

誰もがティータの下で、自分らしく幸せに暮らせるまちを宣言した浦添市にこれからも期待しています！

宮城 桃子 (行政書士・沖縄レインボープロジェクト共同代表)

新年早々、うれしいニュースが飛び込んできました。浦添市が～性の多様性を認め合うまち～を宣言しました。全ての人は多様性の一部であること、それを認め合うこと。

本宣言がセクシュアルマイノリティだけでなく、すべての人へのエールになると確信しております。

仲西 郁代 (浦添市女性団体連絡協議会会長)



11 月旅先のサンフランシスコ、レインボーフラッグに包まれたカストロ地区で、約 40 年前「人間の多様性を守る」戦いの事、毎年 6 月 25 日、世界中から集まる LGBT パレードは参加者で道路を埋め尽くす事を聞きました。浦添市のレインボー都市宣言は個性を皆で認めるきっかけになると信じます。

安富 歩 (東京大学東洋文化研究所教授)



男女の区分けは人間を枠に押し込める最初の区分です。性自認や性的指向の多様性を認めることは、すべての人を苦しめるこの枠を打ち破る第一歩となります。浦添市の宣言は、すべての人がティータのごとく輝くことを目指す点で、意義深いと考えます。

笹良 秀美 (助産師・思春期保健相談士)



「性」はいろいろ！男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしく生きていける。一人一人が違うことが前提の社会を築いていく為に、知ること、理解すること、共に支え合うこと。偏見や差別のない、全ての市民が等しく幸せを求められるような社会を作っていきましょう。

糸数 貴子 (We ぷらんにくぐ代表)



性の多様性を認め合うって、簡単なことではないからこそ、宣言をして歩み始めるのだと思います。自分とは違う人、違う考え、違う感じ方…それでも一緒にいられる、尊重し合えるってステキです。誰もが安心して暮らせる浦添市になったらいいな。

加納 滋徳 (トリプルアイグループ代表・(一社) LGBT ソサイエティー代表)



LGBT が尊重されることは、多様な生き方や個の尊厳を守ることであり、今日のグローバルコミュニティにおいて必然・必要である。

“レインボー都市うらそえ宣言” はひとりひとりの人権を尊重する理念であり、全国の自治体にとっても不可欠だと考える。

Harmony with heart and community (調和ある心とコミュニティ)

平良 遼翔 (一社) LGBT ソサイエティー代表理事)



今回の宣言に携われたことを、1 人の当事者としてとても嬉しく思います。

理解をすることが難しくても、様々な性のあり方があるということをもっと多くの方に知ってもらいたいです。

今回の宣言で、市民 1 人 1 人が今よりももっと自分らしく生きやすい”まち”になってほしいと思います。